

平成27年度大磯町教育委員会第1回臨時会議事録

1. 日 時 平成27年 7 月30日（木）
 開会時間 午前9時00分
 閉会時間 午前11時05分
2. 場 所 大磯町保健センター 1 階 保健指導室
3. 出席者 藤 家 崇 教育長
 青 山 啓 子 教育長職務代理者
 中 野 泉 委員
 曾 田 成 則 委員
 濱 名 三代子 委員
 岩 本 清 嗣 教育部長
 小 島 昇 学校教育課長
 山 口 友紀子 学校教育課副課長
 鳥 海 淳 一 学校教育課教育指導係副主幹
 秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 14名
6. 付議事項
 議案第8号 大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について
 議案第9号 大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について
7. その他

（開 会）

教育長） 出席委員が5名で定足数に達しており、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、臨時会は成立します。

なお、本日は傍聴を希望されている方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可します。

暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

議案第8号 大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について

書記が議案を朗読し、教育部長から提案理由の説明を行った。

学校教育課副課長） 平成28年度大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択につい

て、補足説明をさせていただきます。

説明資料 1 ページの教科用図書の採択をする理由をご覧ください。本件につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律により、平成28年度大磯町立小学校で使用する教科用図書を採択するものです。

説明資料 2 ページに、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の抜粋がございます。

第14条の規定により、義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択することになっています。

この「政令で定める期間」とは、説明資料 3 ページの義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条に「同一教科用図書を採択する期間は 4 年とする」と規定されております。現在小学校で使用している教科用図書は、平成27年度からの使用ですので、平成30年度までは同一の教科用図書を採択することになります。

なお、政令の第15条第 2 項にありますように、採択した教科用図書の発行が行われなくなった場合、その他の文部科学省令で定める場合においては、新たに採択をすることとなりますが、現時点でそのような状況にはなっていません。

したがって、平成28年度に大磯町立小学校で使用する教科用図書は、昨年度と同様、議案別紙のとおり採択をしていただきたくお願いいたします。

以上でございます。

質疑応答)

青山委員) 採択替えの年ではありませんが、学校の現場から何か教科書について意見が出ていたり、問題が出ているということはあるですか。

学校教育課副課長) 特にそのようなことは聞いておりません。

青山委員) あと、発行者について、発行ができなくなっている状況もないということでしょうか。

学校教育課副課長) そのようなことも聞いてはおりません。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。

議案第 8 号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし

教育長) 異議なしの声がございましたので、議案第 8 号「大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について」は、原案どおりご承認いただいたものいたします。

議案第 9 号 大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について

書記が議案を朗読し、教育部長から提案理由の説明を行った。

学校教育課副課長) 平成 28 年度に大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択につきまして、補足説明をさせていただきます。教育部長の提案理由にもござい

ましたとおり、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条の規定により、種目ごとに 1 種の教科用図書を採択するものでございます。この法律につきましては、資料の 3 ページに記載してございます。

続きまして、教科用図書の採択に係るこれまでの経緯の概要につきまして、補足説明いたします。資料の 2 ページをご覧ください。5 月 20 日の教育委員会定例会におきまして、平成 28 年度大磯町立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針について決定いたしました。また、大磯町教科用図書採択検討委員会を 5 月 8 日と 7 月 8 日の 2 日間に渡り開催いたしました。第 1 回の検討委員会では、教科書の定義について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律等について事務局より説明し、中学校教科用図書の調査研究についてご承認いただきました。第 2 回の検討委員会では、中地区 3 市 2 町が共同で調査研究した結果について、一種目ごとに代表の調査員より報告・説明を行なうとともに、その調査研究結果報告と神奈川県教育委員会による教科用図書調査研究の結果をもとに、11 名の検討委員に種目ごと、計 15 種目について協議していただきました。また、教育委員の皆さまにも、県や中地区 3 市 2 町の調査研究結果を参考に、すべての教科用図書について、それぞれ研究していただいたほか、学習会を開催して、教科用図書についての理解を深めていただきました。

本日は、以上の経緯を踏まえ、議案別紙のとおり、各教科・種目別の一覧を提出いたしました。

確認のため、教科・種目と発行者名を読み上げさせていただきます。

中学校教科用図書、国語の国語は「光村図書出版株式会社」

国語の書写は「光村図書出版株式会社」

社会の地理的分野は「株式会社帝国書院」

歴史的分野は「教育出版株式会社」

公民的分野は「教育出版株式会社」

社会の地図は「株式会社帝国書院」

数学の数学は「株式会社新興出版社啓林館」

理科の理科は「株式会社新興出版社啓林館」

音楽の一般は「株式会社教育芸術社」

器楽は「株式会社教育芸術社」

美術の美術は「光村図書出版株式会社」

保健体育の保健体育は「株式会社学研教育みらい」

技術家庭の技術分野は「東京書籍株式会社」

家庭分野は「東京書籍株式会社」

外国語の英語は「株式会社三省堂」

補足説明につきましては、以上でございます。

質疑応答)

教育長) 平成 28 年度使用中学校教科用図書についての提案がありました。中学校教科用図書については、教科・種目ごとにご意見をいただきながら、採択をしてまいりたいと思います。

まず、国語の国語から検討します。

大磯町教科用図書採択検討委員会での調査研究及び協議、教育委員の皆様による教科用図書研究を踏まえ、事務局提案は、「光村図書出版株式会社」としていますが、いかがでしょうか。

青山委員) 国語についてですが、意見を述べさせていただきます。

国語は5者からの採択となりますが、どの教科書もそれぞれ特徴や工夫がある教科書でした。この何カ月かの間、県や大磯地区の調査の結果と、それから、大磯町の教科用図書検討委員会の協議内容も参考にいたしまして、国語の各観点について研究してまいりました。

まず、観点の中で、「話す・聞く力」の指導について見てみますと、光村には最初に「話し合う・聞く」の練習教材を生徒の身の回りから取材し、可能な内容で配置されています。それに続いて本題につなげていて、段階を踏んだ流れがよいと思います。また、三省堂の話し合いや対話を扱う教材を軸に、イラストなど具体的に示している点も大変よいと思いました。ほかの者も、「話し合う」が軸となっていて非常に工夫されている中で、やはり光村の段階を踏んだ流れがよいのではないかと思います。

また、書くことについてですが、光村は生徒の興味のあるもの、それから、身近なものをより多く題材として導入しているように思います。ほかの者も書くことを、論文や創作文あるいは案内文というような題材を用いて、考えへの流れ具体的に示しておりますけれども、生徒にとってどれだけ身近かという観点から見て、光村がよろしいと思います。

もう一つ、4つの観点のうちの「読むこと」については、各者ともに学習を深めるためのステップがあって、読解力の習得に工夫していると思います。

次に、伝統的な芸能文化の教材についてですが、これも各者ほとんど大差なくと思いますが、光村は、教材の古典文の下に口語訳が書かれていて、その訳し方に、これは私の主観になってしまいましたが、非常に情感がある口語訳が書かれていると思いました。生徒たちの心により触れるものがあるのではないかという感想を持っております。

また、文学史からの古典へのアプローチというのは、光村が非常にわかりやすく、よかったと思います。

漢字の習得についてですが、光村は1年生の段階で小6の漢字の習得を確実にしているような配置がされていると思います。各者とも漢字の習得への取り組みは非常に工夫されていて、練習問題の配置ですとか、あるいは三省堂の漢字の辞典のような形を配しているということにも非常に工夫があったと思います。しかし、より繰り返し練習して読み書きを確実にしていくという部分で光村が少しよかったように思います。

それから、今、読書離れが懸念されている中で、子どもたちの読書の広がりをもどのように工夫していくかという点で、それぞれさまざまな本の紹介がされています。東京書籍も挙げられている冊数が一番多かったのですが、光村は教材に関連した作品が載せられているということで、子どもたちがどんな本をこの後読んでいこうかというときに、今学習した内容と関連させて広げていける工夫がされていると思います。

国語の教科書を通して、どれだけ豊かな教材に触れることができるかとか、

あるいは見通しを持たせて、言語として国語を感じることや、あるいは繰り返して基礎学習を習得させているというスパイラルがどれだけ充実させているかということを比較してみまして、やはり光村がよいということにいたしました。以上です。

教育長) ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

曾田委員) 私は少し大まかな視点から述べてみたいと思います。

人生の中でというと、ちょっと話が大きくなりますが、夢とか希望とかを持って、それをかなえるというのは大変至難の業だろうと思っております。先日も宇宙飛行士となって宇宙への夢を実現した方がおられました。学校教育の中で、小学校とか中学校時代に教科書を通じてそのことに触れ合う、その夢や希望を実現する生徒が必ずいるわけです。そのような手本になる教科書が私は光村図書ではないかと考えております。

現在、医師でもあります。冒険家あるいは探検家とも言えると思いますが、作家でもあります。作者の作品が特に際立っていることをお伝えしたいと思います。私は、光村図書を推薦いたします。

教育長) 他にございますでしょうか。

中野委員) 先ほど青山職務代理からお話がありましたように、どの教科用図書も県が定める領域における観点及び学習指導要領が定める目標を適切に取り上げていたと思います。特に伝統的な文化という点においては、日本文学の名作を年代順に紹介したり、近代文学史を年表にしたり、芥川、太宰、夏目の作品で作家別にコラムを設けていた三省堂、日本文学、国語史、海外文学の年表、都道府県別の作家と作品の紹介、日本の古典と近代文学の名作の一部を紹介するなどの光村図書に好感を持ちました。

また、読書活動を促すとともに、表現力を必要とするブックトークやビブリオバトルを扱っていたのは三省堂と教育出版でした。さらに、三省堂は辞書機能を持ち合わせているというのが特徴的でした。ただ、光村図書には文学的文章と表やグラフを用いる説明的文章それぞれに読み取り方のヒントがあり、多様な文章問題の取り組みを導いていたところがよかったと思います。また、学年ごとに振り返りがあったり、漢字の練習問題が小学校で習っていたものが含まれていたり、苦手意識を持った生徒に優しいのが光村図書であると印象を受けました。

教育長) ありがとうございます。他にございますでしょうか。

濱名委員) 国語の中で、道徳も学べるものを希望しておりました。読み書き、話す、聞くという能力を鍛えることのできる教科書というところから読み比べてまいりました。

3者が私は出たのですが、東書と三省堂と光村で、東書の中では読書案内の中で一番多くのものが紹介されており、言葉としても身につけさせたい言葉ということがしっかりと取り上げられていると感じました。三省堂の中には学習用語辞典というものがありまして、用語例を含めて載っているので、生徒さんたちにも非常にわかりやすいのではないかと思います。三省堂は、古典作品や三大読み物作品が取り上げられているということで、教養としての文学を学べるのもいいと思います。

最後に、光村ですけれども、言葉の発見、文学の流れ、そういうところが学べる。教員の教材が先にあるというところも非常にいいと思いました。

私は、3つ全部、どれか1つというのは比べてわからなかったんですけれども、その3者を。

教育長) それぞれご意見をいただきました。光村という声が多いのですが、理由としては、身近なもの、また夢のあるものと、多様な教材というくくりで触れられております。共同の調査結果等では、学習の見通しがあればわかりやすいというようなことで現場の先生方の意向も出ていたようでございます。

それぞれの教科書にそれぞれいいところがあるということではございますが、ご意見を伺っておりますと、「光村図書出版株式会社」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、国語の国語については、発行者「光村図書出版株式会社」を採択することにしたいと思います。どうもありがとうございました。

次に、国語の書写について検討いたします。

採択検討委員会での調査研究及び協議、また教育委員の皆様による教科用図書研究を踏まえて、事務局提案としては「光村図書出版株式会社」としておりますが、いかがでしょうか。

曾田委員) 私は、書写については光村図書を推薦します。この教科書は全体的に事例が多くありまして、安心感があるというのが率直な考えです。特に文字との出会い、それから、書く力をつけるという点に特色があるように思います。

実は、書写の教科書全体について一言言いたいこともありますので、そのことを申し上げたいと思います。

中学校で書写が変わるわけですが、文字の歴史については多少触れている教科書もあるのですが、書の歴史については全く触れておりません。では、どの時間でどこでこういうのを学ぶのかというと、なかなか個人の力でないと学ぶ力がないので、この点は各教科書関係の会社に、書の歴史についても書いてもいいのではないかと、少しでも触れてもらってもいいのではないかと、この場で言わせていただきたいと思います。書写については光村図書を推薦いたします。

青山委員) 私も光村がよいと思います。書写も5者からの採択となりますが、書写の授業は、少ない時間数の中で生徒たちに日本の文字文化を体験させて、それをまた中学生生活へつなげる工夫がどのようにされているかということについて、さまざまな観点を通して研究いたしました。やはり実習が中心になると思うのですが、毛筆の授業の場面を想定した場合に、いろんな道具を開いた中で教科書も開いて、限られた時間の中で練習するときに、教科書のお手本や本のサイズについて、コンパクトなほうがよろしいのではないかと感じております。

それから、毛筆の指導ですが、各者さまざまな工夫があります。筆運びについても、擬音語を用いて指導しているものもあります。その中で光村が朱色を用いて視覚的な部分で指導が行われているということは大変よいと思いました。

また、生活へつながる教材という部分で、全者それぞれさまざまな配慮がされておりますが、光村はアルファベットや数字などを示されていました。

それから、小学校の中の書写とのつながりについてですけれども、小学校では楷書を中心に学習しているのですけれども、それが中学校で行書を学ぶという形に移っていくと思います。その中で行書をしっかり学ばせるんだという姿勢を感じるのは光村でした。

書写の時間数が少ない中で、生徒にとっては書写というのは特別な教科になりがちなんですけれども、それを自分の生活の中に結びつけていくという部分で工夫があるのは光村だったと思います。いろいろな観点から見ましたら、光村がよいと思いました。

中野委員) まず、東京書籍は人名漢字が行書で書けるようにという特徴があったと思います。それと、三省堂、教育出版、光村図書の3者は、日常生活に役立つ時候の挨拶を含む手紙のマナーがあったところがよいと思いました。また、教育出版と光村図書には、子どもにとって一番難しいと思われる筆圧の強弱を数値であらわしているという工夫が見られ、よいと思いました。ただ、総合的に見て、光村図書がよいのではないかと思います。

濱名委員) 書写は、誰が見てもきれいという字が書けるように教育するものだと思います。個性的な字ではなくなってしまうかもしれませんが、基本がしっかりしていて応用となり得るものだと考えますので、光村の筆遣いがわかりやすいということと、手本として使いやすい東書を、私は2つ選びました。

検討委員会で出た意見も参考にしたいと思っているのですけれども、検討委員会の中では、何となく私の中では東書を推しているような雰囲気が見てとれました。それはお知らせや看板の流れが入っているというところにあると思うんですけれども、国府中学も大磯中学も代々文化祭に非常に力を入れていまして、生徒たち主体でつくり上げているというところで、自分のクラスの催し物をそうやってお知らせでしてみたり、看板を立ててお客さんにたくさん来てもらえるように、そういう工夫が生活として生かせることができるというところで、現場のその意見はすごく理解することができます。

ですが、やはり書写ですので、全体的に考えますと、わかりやすく、光村がよいのではないかと思います。

教育長) ありがとうございます。それぞれのよさもご説明いただいたのですが、共通したご意見としては、光村図書がよろしいというようなご意見だったと思います。理由としては、幾つか挙げられておりましたけれども、共通して言えるのが、筆遣いが視覚的でわかりやすい、また指導時間数を考慮すると、内容に無理のないものが多いだろうというようなことから、「光村図書出版株式会社」を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、国語の書写については、発行者「光村図書出版株式会社」を採択することにしたいと思います。

続きまして、「社会」の地理的分野について検討いたします。

採択検討委員会での調査研究及び協議、また教育委員の皆様による教科用図書研究を踏まえて、事務局提案は、「株式会社 帝国書院」としておりま

すが、いかがでしょうか。

曾田委員) 私は1つの視点から教科書選定を試みたわけですが、近年の気象変動という点から見てみました。このことは、生徒に防災教育をしっかりとという点で大変重要なことであろうと思います。とりわけ近年は大型台風あるいはゲリラ豪雨とかの自然災害、また、皆さんもご承知の3.11の東日本大震災などが代表されていますが、地球環境問題が大変大きく横たわってきております。そのような視点に力点を置いてみますと、帝国書院が一番この点を重視しているというふうに私は考えましたので、帝国書院を推薦したいと考えております。

中野委員) 教育出版ですが、国及び国名の成り立ちがあったり、ヨーロッパ植民地であったアフリカの各国が独立した年があったりと、歴史や公民と横断的に学習できるようになっていたのが特徴であったと思います。ただ、身近な地域として愛知県が取り上げられていたのが教育出版と日本文教出版、静岡県が東京書籍、唯一関東地方の東京を扱っていたほか、鎌倉などの神奈川県の情報が多いのは帝国書院でした。

濱名委員) 地理には、地理的な見方や考え方の基礎・基本の定着を培うものと、あと、地域的な特色や地域の課題を捉えることを重視して各者読み比べてみました。資料のうまく使いこなして深く考えさせることができたり、具体的に調べ方が載っているのが教育出版であったと思います。子どもが見通しを持ち学習することが可能であるというのが帝国書院だと思いました。私はその2者を推したいと思います。

青山委員) 同じような意見になりますが、やはり帝国書院は資料を大きく扱って丁寧に見せているという点で、生徒たちにとっては地理的分野への関心が深まるのではないかと思います。

教育長) ほかにございますでしょうか。

皆さん方の研究会といいますか、学習会の中では、帝国書院の他地域との結びつきとか生活文化、あるいは歴史的な背景などの視点で焦点化していることで地理的な見方、考え方を深めようとしているところが見られるというようなご意見もあったように思います。先ほど子どもたちにとって見やすく大きな図版、写真がよろしい。地域の様子を概括的に捉えることができるというような意味で、また、気象変動や環境など今日的な課題の内容があって、横断的といいますか、公民等との連続性を考えた構成にもなっているのではないかなというようなことから、「株式会社 帝国書院」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、社会の地理的分野については、発行者「株式会社 帝国書院」を採択することといたします。

次に、地図は公民的分野の後に表示されておりますが、社会の地図についてここで検討したいと思います。

これまでの調査研究、協議、また皆様方の研究を踏まえて、事務局提案は「株式会社 帝国書院」としてありますが、いかがでしょうか。

曾田委員) さすが地図の帝国書院ということではないかと思いますが、基本的には、世界という観点から見ますと、州ごとになって、それから、日本という観点

から見ますと、地方ごとにまとめられております。このことは比較しやすく、また、地図や資料が多数掲載されておまして、私は帝国書院がよいということで推薦をいたします。

中野委員) 私は、横断的な活用ということを目にしてみました。帝国書院なんですけれども、資料図なんです、歴史や公民と横断的なつながりを見てとれるようにできていたところがよかったと思いますので、帝国書院を勧めます。

あと、等高図なんですけれども、高低差がすごくよくわかって、視覚的に明確なのが帝国書院だと思いました。

濱名委員) 地図というのは、地図にある情報からいろいろ把握することができると思います。地形図などからさまざまな情報を読み取って、土地活用や防災計画など活用がさまざまできると思います。

東書さんのほうは、資料集的な意味を持つような気がしてまいりまして、帝国は地図を中心に考えて、地図を見て読み取る、学べるところを狙っているような気がしましたので、私も帝国を推したいと思います。

青山委員) 視覚的な部分で見ますと、両者を広げたときに、帝国書院のほうが、比べてみるとインパクトのある色彩になっているということで、ユニバーサルデザインについては、両者ともに非常に配慮されていると思うのですが、その部分で比較しますと、やはり帝国書院のほうが見やすいと思いました。

教育長) ほかにありませんでしょうか。

それでは、資料の色使いといいますか、また大きさに配慮が見られる、見やすい、地図から読み取る力を育てようとする視点が読み取れるというようなことで、「株式会社 帝国書院」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、社会の地図につきましては、発行者「株式会社 帝国書院」を採択することといたします。

次に、社会の歴史的分野について検討します。

採択検討委員会での調査研究及び協議、教育委員の皆様による教科用図書研究を踏まえて、事務局提案としては「教育出版株式会社」としてありますが、いかがでしょうか。

曾田委員) 歴史というのは、過去と現代の対話であるというのが多くの方に語られておりますが、私は歴史教科書を選定するというテーマについては、大きな視点とその背景が大変重要になってくるのではないかと考えております。今の日本の国が国際社会の中で抱えている諸課題、いろいろありますが、領土問題、地球環境問題等、尽きることのない多くの諸問題を含まれております。その中で自分の視点で考える、それから、自分の言葉で歴史を表現する、そういう歴史への探求をするという生徒たちのこれからを考えますと、教育出版がよいと思い、教育出版を推薦したいと考えております。

濱名委員) 去年、小学校の教科書採択が終わりまして、次は中学校ということで、活発な論争があるであろうと思ひまして、10月の国体で長崎に行ったときに、長崎原爆資料館を訪れ、広島原爆資料館も一人で見に行き、教科書採択を念頭に置いて、靖国神社も4月に見てまいりました。記述内容をめぐる論争はこの時代だけではないのかもしれませんが、勝手にそこに論点を置い

て、当時の背景や考え方の主流を知ること努めてまいりましたが、結局、検討会で皆さんがどのように思って、どのような話が出るのかというところを聞いたかったですけれども、その話が出てこなかったということはすごく残念に思いました。

その上で各者の教科書を手にとり、世間で育鵬社について取りざたされておりますので、どういうものかとしっかりと見てまいりました。見比べましたけれども、どれも領土の併記がありますし、領土問題、自衛隊、集団的自衛権などというのは、全ての教科書で大差なく感じました。

今後、グローバル化された労働社会で競争していくためには、今の子どもたちが行動する上で困らない教養を身につける必要があろうかと思います。育鵬社にはコラムが多くて、登場の人物もしかり、生徒にとってより深く理解したり、記憶に残る、授業をアクティブ化するのに使いやすいというふうに私は捉えました。ですが、現場のほうからはそのことについての評価がなされなかったという捉え方を持ちまして、ほかの教科書の中では東書というのは、今、学んでいる時代がわかりやすく、資料も多いところが非常にいいと思いました。

教育出版はページごとの確認がしやすく、2020年のオリンピック・パラリンピックというのがございますけど、それに向けて意識の高まりという、コラムなどの内容も非常に充実していると思いました。

ほかにも検討会の中で人気が高いと思われる教科書はあったんですけども、それには両論併記されていないところもありましたし、最終ページの年表がとてもわかりやすく、この教科書はいいなというのがあったんですけども、現場の意見も尊重する中で出した答えは教育出版ということになります。

青山委員) 私も教育出版を推したいと思います。教科書に出てくるさまざまな基礎の部分をどのように習得させていくかという部分で、今までのお話にもありましたが、見開きでしっかりとわかりやすく示している、それから、基礎を押さえてから振り返る、また確認、それを2つのステップで確実に展開しているというところが非常にいいと思いました。

また、どの教科書も各時代ごとに年表が配置されているんですが、どこも非常によくできていると思いました。教出は、非常に大きく見やすく配置されていて、数百年単位の流れですけども、そこが把握しやすく工夫されていると思いました。また、空欄を埋める問題なども置かれていまして、そこで復習と活用を考えているという部分で、子どもたちの習得について、やりやすいという感想を持ちました。

中野委員) 私は実は清水書院がおもしろいと思いました。というのは、聖徳太子や西郷隆盛とか歴史上の人物や歴史的な事象に関して、最近明らかになった説について言及している点が非常に好感を持ってました。

また、帝国書院では、時代ごとに見開きページで、当時を生きていた人々の生活がわかるイラストを載せていて、まずその時代に入る前に視覚的に興味を引くような工夫がされていたところがよかったと思います。

ただ、教育出版では、各章の学習のまとめにおいて、世界史を比較していたところ、項目ごとに年代がわかるようになっていたところ、タイトルにそ

の時代を反映したはやり言葉を使っていたり、1項目を見開きページで学習できるようになっていた、わかりやすさと親しみやすさの工夫が見てとれたところがよかったと思います。

教育長) ありがとうございます。

各者それぞれ特色があって、それぞれに感想をお持ちですが、1つは、現場の声を尊重したいということと、また教科書の目当てや振り返りが具体的である、わかりやすかった、年表や構造図の資料も見やすいというようなお話がございまして、その中で「教育出版株式会社」ということが出ているように思います。「教育出版株式会社」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、社会の歴史的分野については、発行者「教育出版株式会社」を採択することといたします。

次に、社会の公民的分野について検討してまいりたいと思います。

採択検討委員会での話し合い、また教育委員の皆様による研究を踏まえて、事務局提案は、「教育出版株式会社」としておりますが、いかがでしょうか。

曾田委員) 私は教育出版を推薦しております。一人の社会人となるときに、社会におけるルールとか決まりを果たす役割、あるいはまた取り交わす契約の大切さというのは、なかなか生徒たちには十分把握できていないと思います。大人でさえもいろいろとあるわけですから。そういったわかりやすい多くの事例を挙げております。それが、生徒たちがどう自覚できるかということが課題でありますので、このことからしても、私は教育出版がよいと感じております。

日本の社会とか国際社会に生きるときに、本当に大切なことがそのあたりにあるのではないだろうかと考え、教育出版を推薦をいたします。

濱名委員) 公民では、政治、経済、社会に関する基礎的な教養、今日的な題材を扱い、社会の見方や考え方を学べるものというところを視点として、各者読み比べてまいりました。情報が多く充実した資料があり、図表も大きく見やすく、そして、今日的な話題も非常に取り上げられているものとして、私も教育出版がいいと思います。

また、帝国書院も非常にわかりやすかったと思いました。近い将来に役立つことが可能であると思われます。2つの中でも、教育出版のほうが、国家の意味であったり、国旗や国歌についての知識、そういうものも含まれていると判断しましたので、教育出版を推します。

中野委員) 私は、実は東京書籍がいいと思いました。というのは、憲法9条や自衛隊のあり方、集団的自衛権、沖縄米軍基地、領土権や人権問題など生徒たちに考えてもらいたい課題につき、歴史的な事実を公正に述べ、しかも多角的、多面的な考察もしている点が非常に好感を抱きました。また、子どもたちにぜひ考えてもらいたい未成年者の犯罪にかかわる記述があったのが清水書院と育鵬社でした。

また、ごく近い将来に選挙権を有するようになる生徒たちに考えてもらいたい一票の格差ということについて、議論する課題があったのが教育出版だったと思います。

青山委員) 今まで出たご意見以外の部分なんですけれども、教科書を開いたときに、

写真資料や図版など、さまざまなものが一緒に載せられていますが、それはやはり子どもたちが視覚の部分から深く印象に残る内容だと思います。その中で、政治や経済やさまざまな公民に関する内容について、メリハリが効いて非常にわかりやすい表現になっている部分で見ますと、たくさんある教科書の中で教出が一番メリハリが効いていて、子どもたちに理解しやすい図版がより多く載せられていると思いました。

また、歴史と公民がすごくつながりがある、横断的な部分が多いと思います。個人的には歴史と公民の教科書というのは、ある意味で共通なものを選択してもいいのではないかなという思いがございました。これは結果としてたまたま教出になったということになるかもしれませんが、そういう部分でも教出を選んだほうがいいのではないかと思います。もちろん内容の吟味を優先してですが、教出が良いと思います。

教育長) ご意見の中で、わかりやすい事例が多い、社会人としてのルールを学ばせる上でも、また視覚に訴えるというような意味でも、わかりやすい事例が多い。それから、今日的な課題あるいは時事的な事象が盛り込んである、より深く学習できるようになっている。それから、歴史とのつながり等を考える、いわゆる公民としてのまとまりがあるというような点で、「教育出版」ということでご意見が出ているわけですが、「教育出版株式会社」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、社会の公民的分野については、発行者「教育出版株式会社」を採択することといたします。

次に、数学の数学について検討します。

採択検討委員会での話し合い、教育委員の皆様による研究等を踏まえ、事務局提案は、「株式会社 新興出版社啓林館」としてありますが、いかがでしょうか。

中野委員) 各者とも県が定める観点及び学習指導要領が定める目標を適切に満たしていたと思います。数学的な考え方がふだんの生活においてどのように役立つか、これは重要なんですけれども、それをわかりやすく解いていたのは東京書籍、啓林館、教育出版、大日本図書、数研出版だったと思います。中でも日本文教出版では、生活への利用という項目があり、それに関わる学習活動があったのが特徴的でした。

教育出版ですけれども、「数学で大切にしたい考え方」という項目があった点、また、数学的な性質を見出す活動に主体的に取り組めるようになっていたと思います。

学校図書や教育出版には、問題に取り組む前に例題から回答例を学べるようになっていたり、小学校の数学への振り返りがあったりと、苦手な生徒がつまづかないようにするための工夫が見られました。どれも甲乙つけがたいなというのが私の意見です。

教育長) 教育委員さん方の話し合いの中では、いろいろな考え方とか、あるいは解決の方法があるので、そういう問題を多く取り上げているのではないか。つまり、そのような概括的なといいますか、意見が出やすい教材を取り上げることで、子どもたちが説明したり、あるいは伝え合うというような言語活動

といいますか、そういうものを深めやすいという意味では、啓林館というお話も出たように思いますが、いかがでしょうか。

濱名委員) 数学はすごく苦手でした。生活への結びつきが私にはわかりにくかったです。そこで、数学はなくても生きていけるというふうに言わせないためにも、数学的な活動が多い啓林館がいいかと思いました。あと、苦手だったということもあってですけども、東書だけがワンクッションがあるので、つまりいて、興味が薄れて嫌いになるというわけですから、そこにワンクッションあって確かめることができるとなると、理解が深まって、数学が嫌いにならないような気がします。

あと、大日本なんですけども、導入が非常にわかりやすく、量も、間隔がありますので、そこに生徒が使い勝手よく、自分のノートじゃないんですけど、教科書に書き込むというのがあるかもしれません。私はすぐ書き込んだり線を引いたりする人間ですので、そこで自分の教科書をわかりやすくしていくことが可能であると思いますので、それも非常にいい教科書だと思います。ですけど、やはり数学的な活動というところから啓林館を推したいと思います。

青山委員) 私も啓林館を推したいと思います。数学というのは、やはり積み重ねが大事な教科だと思います。そういう中で、新しい学習に入る前に生徒の学習の意欲を呼び起こすような「学習の扉」というのが設定されています。そして、既習内容、小学校の部分であったり、あるいは全学年の部分とのつながりを大切にしているということを感じます。

また、啓林館は2冊構成になっていますけれども、その部分で繰り返し学習する、選択肢を増やしていくという、また、先生も、あるいは生徒も活用について選択肢が非常に広く持てる内容だと思います。

教育長) それでは、幾つか他者のよいところも出ているわけですが、別冊等を使って学び直しあるいは繰り返しができるという点が1つ、数学的な活動が豊富に盛り込まれている、また言語活動につなげやすいような構成になっているということで、「株式会社 新興出版社啓林館」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、数学の数学につきましては、発行者「株式会社 新興出版社啓林館」を採択することにしたいと思います。

次に、理科の理科について検討します。

採択検討委員会での協議、また教育委員の皆様による調査研究を踏まえて、事務局提案としては、「株式会社 新興出版社啓林館」としておりますが、いかがでしょうか。

青山委員) 調査の各観点を踏まえまして、私は、子どもたちの理科離れが今いろいろ懸念されている中で、小学校の理科の学習を引き継いだ上で、理科はおもしろいと感じられるような授業ができる教科書を選びたいと思いました。

各調査員の報告書の観点について、5者にはほとんど差がなく、どの教科書も非常に工夫されています。写真や資料もどの者も数多く掲載されていますけれども、その中で、どれほどその内容が生徒にとって身近なものがあるかについていろいろ見てみますと、啓林館あるいは東京書籍、それから、

学校図書出版などが非常に身近な題材を揃えていると思いました。

理科の学習について、楽しいなと思って導入していけるような展開、予想する、考える、調べる、話し合うといった流れがうまく書かれている、明確に示されているものについて比較してみますと、啓林館あるいは東京書籍などが非常にうまく書かれていると思いました。

それから、授業参観などに行きますと、理科の実験を見る機会が何度もありました。伺ってみますと、大磯町は、実験について非常に頻繁にやっているという話を聞いております。そういう中で、実験器具の扱いとか、安全指導についてどのように載せているだろうかということで比較してみますと、やはりこれもどこの者も載せているのですけれども、より具体的に、あるいはイラストや写真の載せ方など比較してみますと、啓林館あるいは東京書籍、教育出版などは細かく丁寧に載せているという印象を持ちます。そういった具体的な作業の部分以外に、理科の学習内容、基礎的な知識を習得するための振り返りの練習問題ですとか、解説あるいは応用問題が充実しているのは啓林館ではないかと思います。

また、啓林館は、2冊構成になっていますけれども、別冊の部分はいわゆるワークブック的なものではなくて、基礎・基本を確認する部分で、授業中に教科書とは別に、それも教科書の上で開いて学習する場面もあるということ伺いました。そうすることで指導する側も指導の選択肢が増えるという部分ですぐれていると思います。

いろいろな観点で見て、あるいは学校の実際の授業、実習の場面を想定して、総合的に見てみますと、啓林館がよいと思います。

中野委員) 私は、数学との関連に注目しました。数学的な知識が理科でも役に立つという関連性を示していたのが啓林館と大日本図書で、小学校で習った算数をもとに理科の計算問題を扱っていたりという点がよかったと思います。

また、東京書籍と大日本図書では、科学者の研究の歴史や科学史を扱っていたところがよかったと思います。

また、東京書籍では、科学の知識はどのような分野の職業に生かされるのかという夢と希望を持たせるような取り上げがあったことがよかったと思いました。

もう一つ注目したのは章立てなんですけれども、1年の章立てが植物から始まっているのが東京書籍と啓林館、大日本図書、物質から始まっているのが学校図書と教育出版でした。2年では科学物質、3年では化学物質の次に運動エネルギーという順番で始まっているところが多い中、2年は動物、3年は生命というところから始まっているのが啓林館のみで、生徒にとって身近で親しみやすい分野から理科を説いていこうという姿勢が見られたところがよかったと思いますので、私は啓林館がよいと思いました。

濱名委員) 日常生活とのかかわりが随所にあるように思われました。付録が非常に特徴で、インパクトがあると思われたのは東書と教出の2者でした。

大磯町は非常に実験が多く、事故防止、安全対策が多いというところが東書だと思われます。ここ2、3年聞いていないんですけども、夏休み、夜中に寝袋を持って子どもたちが学校に行って星の観察をしたりというのを理科の先生が頑張って見てくださったりするので、その日はOB、OGたちも集

まります。そこで理科を好きにさせるというふうな工夫も非常に見られます。

啓林館なんですけれども、2冊のメリットがありまして、一遍に開けることがあると思います。あと、目立つように書かれておりますし、説明も非常に丁寧に書かれております。ガスバーナーの使い方、気体の集め方なども非常にいいかと思われまして。「別の方法にトライ」というところがありまして、ほかの経過からの結果などもわかることがありますので、興味・関心を高める活動が発出されておりました、ますます理科好きが発展していくのではないかなと思われて、啓林館を推したいと思います。

教育長) それでは、啓林館という声が多いわけですが、まず、観察・実験について見通しを持って活動できる。安全指導についても配慮がある、これは東書さんも同じというようなことでした。また第一分野、第二分野の順序性といいますか、これが子どもの実態に合っているという理由等から、「株式会社新興出版社啓林館」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、理科の理科につきましては、発行者「株式会社 新興出版社啓林館」を採択することにいたします。

次に、音楽の一般について検討をお願いいたします。

採択検討委員会での協議、また皆様方の研究を踏まえて、事務局提案は「株式会社 教育芸術社」としてありますが、いかがでしょうか。

青山委員) 音楽は2者からの選択ということになって、両者ともに非常に多様な教材が統計的に配置されていまして、本当に優劣つけがたい教科書だと思います。その中でどちらかということになると、非常に苦しい選択なんです、私は教育芸術社を推したいと思います。

教育芸術社は、全ての教材で学習目標が大きくページに示されていて、生徒が見通しを持って学習できるように工夫されていると思います。

また、音楽一般の基礎的な能力の習得について、2者ともレイアウトを工夫されているんですけれども、教育芸術社はシンプルにデザインすることで学習に必要な情報に注目できるように工夫されていると思います。

また、この中に「音楽学習マーク」というのがありますが、これは教材と共通事項の関連が非常にわかりやすく示されていると思います。

それから、ビンゴゲームとか、リズムゲームというような内容で楽しく基礎的な内容を習得させるように工夫されているように思います。

鑑賞の教材についてですが、これも2者とも多様な教材が数多く用意されていて、比較するのは難しいのですが、教育芸術社のほうは、命の大切さですとか心を養う歌詞を持つ教材が多いのかなという感想を持っています。

今、学校で合唱指導をどこもやります。生徒たちが全員心を一つにして取り組む合唱曲について、これも2者、選曲にいろんな違いはあるんですけども、そのバランスにも本当に差がなくて、よく考えられていると思います。そういった中で、どの曲が載っている、載っていないではなくて、教育芸術社は全学年を通して呼吸姿勢について示されている内容が良かったと思います。

中野委員) 私も、どちらもよくできている教科書だと思いました。今、青山職務代理からもお話がありましたように、鑑賞について、あるいは合唱についても、

どちらもよい題材を使っていると思いました。ただ、若干、教育芸術社のほうが、アカペラがあったり、オペラを扱っていたりといった特徴が見られました。

もう一つは、音楽の基本となるリズムのとり方をゲームを通じて楽しく学べるような工夫があったのは教育芸術社でした。苦手な意識を持った子どもでも楽しく音楽を学ぶことができるという工夫があった点はよかったと思いますので、私も教育芸術社を推したいと思います。

濱名委員) 2者ともに選びづらいところがあります。2者ともいいなということですが、どっちがいいかというところの観点で、合唱の教材というところから選びました。6年ぐらい前から国府中学で合唱コンクールをクラス対抗で行われているんですけども、年々レベルが上がっておりまして、そういうところで教科書を見ても学ぶことができ、先生が教えやすい教科書というところで、教育芸術社がいいと思います。

教育長) 3点ほどの理由があったと思います。まず1点目は、学習の目標と活動が明示されてわかりやすい。それから、教芸の音楽学習が合唱コンクールに生かせる技法の習得につながるのではないかと。さらに、3点目としては、命の大切さを尊ぶような教材が相対的に多いのではないかと。というようなことで、「株式会社 教育芸術社」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会としては、音楽の一般については、発行者「株式会社 教育芸術社」を採択することといたします。

続きまして、音楽の器楽合奏について検討をお願いしたいと思います。

同じように、採択検討委員会での話し合い、また委員の皆様の調査研究を踏まえまして、事務局としましては、「株式会社 教育芸術社」としておりますけれども、いかがでしょうか。

青山委員) これも音楽一般と同様、2つの者からの選択ということで、やはり両者とも非常によくできていまして、優劣つけがたい中で選ぶという状況です。

教育委員会で学校訪問しましたときに、音楽でお琴をやっている授業を参観したことがあります。和楽器の実習について見たのは初めてだったのですが、そういう中で楽器の演奏上の示し方、これは両者ともに非常に丁寧です。教育出版は写真が非常に大きくて、リコーダーの運指も見やすく視覚的に工夫されています。

教育芸術社も同じようによく書かれている中で、練習の手順やポイントの示し方をQ&A方式を使って示すなど、よりわかりやすく段階的に解説していると思います。この部分でも教育芸術社がよろしいと思いました。

それから、音楽の文化についてですが、教育出版は年表を用いて変遷を学習させている一方で、教育芸術社は、演奏する状況を想定して和楽器を紹介している。授業参観など踏まえて考えまして、教育芸術社のほうがより大磯の音楽の授業に即しているという感想を持っています。

中野委員) 私も教育芸術社のほうがよろしいと思いました。

教育出版のよかったところは、一番子どもたちが使うリコーダーなんですけど、リコーダーの指づかいが楽譜の横に示してあったので、教科書を見ながら学べるというわかりやすい説明だったと思います。ただ、先ほど青山職

務代理からお話があったこと以外の点で申しますと、作曲家の肖像画と曲に関する説明というのがありまして、当然しておくべき基本的な知識が身についていくと思いましたので、その点を推したいと思います。

教育長) 和楽器の紹介の仕方、説明のまとめが、丁寧である。だというのが琴とか、リコーダーの演奏の、手の動きの拡大写真とか、あるいは画像が掲載されていて、苦手な子どもの興味を引き出そうという工夫がなされているというようなことから、「株式会社 教育芸術社」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、音楽の器楽合奏につきましては、発行者「株式会社 教育芸術社」を採択することにしたいと思います。

続きまして、美術の美術について検討いたします。

同じように、採択検討委員会での協議、また委員の皆様による調査研究を踏まえまして、事務局提案は、「光村図書出版株式会社」としてありますが、いかがでしょうか。

中野委員) 3者とも県が定める観点及び学習指導要領が定める基準を適切に満たしていたと思います。

光村図書と開隆堂が1年と2・3年上下の2分冊、日本文教出版は1年から3年まで3分冊になっていました。開隆堂では、製作活動のみにとどまらず、展示、発表、評価する発展的な活動への取り組みがあったところがよかったと思います。また、弁当箱の比較など、生徒にとって身近な題材を取り上げていて、親しみが持てました。ただ、光村図書は、道徳的な要素を含んでいるという特徴があります。発想を広げたり、構想を練ったりする方法を具体的に示している点なども、苦手な生徒への配慮が見受けられたところがよかったと思います。

濱名委員) 3者ともにいいと思いました。美術は表現と鑑賞で人間形成を図るということであったり、生涯教育につなげていく、そういう観点から3冊を見比べてまいりました。生徒の活動写真が多いのが光村で、同じ世代の人が活躍していたり活動している写真を見たりすると、自分もできるんじゃないかと、自分もやってみようという気持ちが起こりやすく、それはいいことだと思われました。半分は表現で半分は鑑賞、バランスよくなっているのも光村だと思いましたので、私は光村を推したいと思います。

曾田委員) 先ほどの音楽もそうだと思いますが、特に最近、いろんな分野から多彩な人材を輩出しておりまして、例えば美術ではとても身近に感じるようになっております。知った方がこんなことをやっているんだと、そういう身近な感じがするのが、そこに力点を置いているのが光村ではないかというふうに思います。ですから、生徒たちがいろんな形で、例えばひらめきから来ることとか、そういった点でも何か感じさせるものがあるのではないかということで、光村を推薦いたします。

教育長) 皆様のご意見の中では、表現と鑑賞のバランスがいい、また生徒の作品と製作者である子どもの表情を一緒に掲載されていて、生徒にとって親しみが持てる、生徒の視点がクリアに出ているというような意味で、「光村図書出版株式会社」を採択したいと考えますが、よろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、美術の美術については、発行者「光村図書出版株式会社」を採択することといたします。

次に、保健体育の保健体育について検討します。

採択検討委員会での話し合い、また教育委員の皆様による教科用図書研究を踏まえて、事務局提案は、「株式会社 学研教育みらい」としてはいますが、いかがでしょうか。

青山委員) 保健体育という種目は、子どもたちにとって、まさしく自分たちの問題を扱っている教科だと思います。そういう中で、各観点について、4者ですが、非常に工夫されていて、本当に差はないと思います。その中で、保健体育の内容が男子生徒、女子生徒、両方共通の問題なんだという意識で扱っている教科書、そういう観点も踏まえながら見させてもらいました。

まず、学習の流れの示し方ですが、学研あるいは東書が非常にはっきりと明示していてよいと思います。そして、活用することについては、東書の「考えよう」ですとか「生かそう」や学研の「活用しよう」などがあり、習った学習内容もより理解を深めるように誘導しているのが工夫があるなと思います。

また、この教科書の中で、生徒たちを取り巻く社会問題、薬物であったり、ネット被害であったり、飲酒であったり、あるいは生活習慣についてであったり、そういった問題について注目させていただきますと、各者ともにさまざまなテーマを扱って、深く掘り下げていただいていると思いますが、その中で具体的でわかりやすいのが学研か、あるいは東京書籍と思いました。

非常に細かい部分ではあるのですが、大磯町は海に面したまちでもありまして、海の離岸流について危険性を示しているのが学研でした。こういった部分からもやはり学研が良いと思います。

問題解決能力の育成をどういうふうに図っていくかというところでは、東書などはロールプレイなど注目される部分もあるのですが、その中で、やはり学研が各章の初めに学習につながる課題をウォームアップなどの形でしっかりと示していること、そして、学習の流れ、学習テーマの理解を深める工夫がよりされていると思いました。そういった点で学研がよいと思っています。

濱名委員) 保健体育ですので、運動を通じて心身の発達を促進し、健康な生活を営み、体力・能力を養うこと、運動についての理解を深めることを目的に両者見比べてまいりました。検討会議の調査員の方が着目されていたのは、海がある大磯町としての心肺蘇生法で見比べてみたんですけども、例えば意識のあるなしを確認するのに肩をたたくんですが、前からたたっている教科書がありまして、そうではなくて、肩の上から爪先に向かって一本筋をぽんと通すのがコツなんですけれども、そういうことなどがしっかりと示されているのが大日本と学研の2者だと思われました。

あとは、近年の問題としまして、年齢、性別に関係なく、全ての人にあると思われるのが熱中症で、この時期非常に危険なことなので、これからの生徒には学んでもらう必要があると思われました。そのところも意見を出させていただきました。調査員ではないのですが、検討会の中から東書が非常

にすぐれているというふうな意見が出ました。私が見た中では、大日本、学研の2つがすぐれていると思われました。

チェック項目が、見比べていただくとわかるんですけども、横にチェックしていくよりも縦にチェック項目があって、そうでなければこっち、それが違っていればこっちというふうな、最終的に見ていくのが縦に並ばれているのが非常にわかりやすいのと、あと、現場ではパニックになってしまいますから、何を問いかければいいという例題が載っているところも大日本でした。数字を言って、電話番号、例えばそれがぽんと返ってきたら、その次は下に進めばいいんだなというところがわかりやすく、私も全国回って、熱中症のことをお話ししたりするときの資料とよく似ていましたので、それが全ての体育館なり運動する場所に張られているといいなと思われたのも大日本と学研の教科書にありました。

あと、オリンピック・パラリンピックの知識、期待が持てるような教科書が大日本、大修館、学研の3者ございまして、自転車の罰則ガイドが載っているのが学研でした。全体的に見まして、大日本は話が出てこなかった、評価が聞こえてこなかったというのがちょっと残念に思いますけれども、現場の声も吸収しまして、学研を推したいと思います。

中野委員) 今、濱名委員からお話がありました大日本図書ですけれども、私もよいと思った点があります。章ごとに重要な言葉とその意味、学習のポイントがまとめられていたので、非常に子どもたちが学習しやすいなと思いました。

そのほか、今、最も子どもたちが巻き込まれやすい犯罪、ネットを利用した犯罪について言及があった教科書はたくさんありますけれども、東京書籍については、小中学生別の比率と男女比がありました。

学研については、コミュニティーサイトにかかった未成年者の被害状況が詳しく説明されていたところがよかったと思います。

また、大修館書店につきましては、薬物の種類や俗称について非常に詳しく掲載されていました。子どもたちがトラブルに巻き込まれないようにするのに必要な情報だったと思います。ただ、学研にはもう一つ特徴がありまして、体調に応じて摂取する必要がある食品やその組み合わせがあって、今すぐに役立つ情報として非常に有意義だと思いました。

曾田委員) 私は、薬物という視点から見させていただきます。2004年にドラッグ問題が青年たちの間に広がってきまして、大変な社会問題になりました。そうこうしているうちに、どんどん広がっていきまして、大学生については大麻問題が大きく扱われました。その後、薬物はどんどん低年齢化して、年の若い子どもたちにも蔓延していきまして、さて、これから成長期の子どもをどう見ていくかという点で、確かに2つの教科書が薬物について、6種類の薬物がありますよということで、表記されております。その中で全体的によかったのは学研というふうに考えております。成長期における子どもたちの心と体の問題をどう捉えるかというのがそれほど大事にされていない。実は本当に大変なことだということを知らしめるのは、教科書を通じてが一番早いわけですから、その点に力を入れている学研を私は推薦したいと思います。

それから、自然災害はどの教科書もいろんな形で、3.11以降あるいは自然環境の問題もありますが、学研も自然災害の中でどう対応していったらいい

かということも取り上げられております。そういう意味では、生きている教科書だなというふうに感じておりますので、学研を推薦したいと思います。

教育長) まず、内容の点で薬害とか熱中症とか、生徒が興味・関心を持ちやすい課題、あるいは現代的な健康の問題について、広く学べる構成になっているという意味で学研。あるいは海に面した大磯という地域性を考えて、心肺蘇生法等は挿絵とか写真、あるいはフローチャート等がついているというようなことで、実践につなげやすいという意味合いからも学研。その他については、大日本あるいは学研、それぞれいい面が出されてきておりますけれども、先ほど来、現場の声を反映すればというようなこともございましたので、そういう意味で「株式会社 学研教育みらい」を採択したいと思っておりますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会としては、保健体育の保健体育につきまして、発行者「株式会社 学研教育みらい」を採択することといたします。

次に、技術・家庭の技術分野について検討をお願いいたします。

同じように、採択検討委員会での話し合い、また皆様方の調査研究を踏まえ、事務局提案といたしましては、「東京書籍株式会社」としてありますが、いかがでしょうか。ご意見をお聞かせください。

曾田委員) いろんな見方があると思いますが、私は、東京書籍を挙げたいと思います。子どもたちが未来をこれから考えていくという意味で、やはり 3.11 が大変大きな印象に残っているわけですが、そこを起点といたしまして、これからの日本をどう考えていったらいいのだろうかという点でいきますと、省資源だとか、あるいは省エネルギーだとか、また、自然環境の保全に対する考え方、それから、これからのエネルギーとか、海、山、あらゆる自然の分野、そういうのをいろんな分野から捉えている、あるいはまた考えているという点で東京書籍がいいと思いますので、推薦させていただきます。

濱名委員) 何度も言うのですが、私、自立が早かった、ひとり暮らしが早かったんですね。家庭科の教科書というのに非常に助けられてきましたので、そういう観点で生活に必要な基礎的・基本的な知識が学べる教科書ということで見てまいりました。その中で、その後に生かせることがあったり、少ないけどもよく絞った例が出ている、何かをいざつくろうと思って、工程を一つ一つ見ていけば、自分でもできるなというふうに思うと、教育図書が一番いいと私は思いました。その次は東書ですので、その順番で推したいと思います。

中野委員) 私も教育図書がいいなと思いました。バランスがととてもよくて、例えば、先ほど何度も申し上げているとおり、横断的な活用もできるようになっていました。例えば、食料自給率の世界比率ですとか、作物の起源と気候の関係をあらわすとか、農畜産や水産に関する統計データなども掲載されているといったところがよかったと思います。

また、最近、パソコンをうまく扱う子どもたちが増えている中、二進法の数え方がありコンピュータープログラミングの基礎知識も学べるようになっていたところがよかったと思いました。

また、開隆堂では、情報セキュリティや知的財産、勝手にいろんなものをダウンロードしちゃいけないよという教訓にもなって、非常にいい記載があ

ったと思います。その点については、他者に比べて最も多くページを割いていたところがよかったと思います。こちらやはり二進法の数え方や単位表、ギガ、メガの記載がありました。また、コンピュータグラフィック、プログラミングの基礎知識も学べるようになっていくところがよかったと思います。

青山委員) 私は、東京書籍がよいのではないかと思います。今までのお話の中でもありましたけれども、いわゆる学習と実習のバランスがいいのではないかと。特に実習という部分に生徒たちの注目がいくと思うのですけれども、中学生が実習する内容としてどの者がいいかと比べると、やはり東書のほうがやりやすい内容を扱っていると思います。また、それに伴う事故防止や安全に関する記述も充実していると思います。

そういうことで、東書は中学生にやりやすい教科書だろうという部分と、その基礎知識が、学んだ後も生徒の生活の中でテキストとして生かしていけると感じました。

教育長) 何点かございましたけれども、まず、内容面では、3.11以降も資源問題、エネルギー問題を捉えるという視点でのご発言もございました。知識や理解といいますか、いわゆる座学の部分と実習の部分とのバランスがとれているのは東京書籍であるというお話もございました。実践的な活動や作業工程がわかりやすい、丁寧に記されているということでは、教育図書も開隆堂も変わらないというようなご意見が出ているわけですが、ほかにまだございますでしょうか。よろしいでしょうか。

事務局といたしましては、「東京書籍株式会社」を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、技術・家庭の技術分野については、発行者「東京書籍株式会社」を採択することといたします。

次に、技術・家庭の家庭分野について検討します。

採択検討委員会での調査研究及び協議、また教育委員の皆様による調査研究を踏まえて、事務局提案は、「東京書籍株式会社」としておりますが、いかがでしょうか。

曾田委員) 私は東京書籍を推薦したいと思います。この教科書の特徴は、人生をどう生きていくか、その中で何を目的にして生きていくのか、その土台を十分考える展開がなされております。特に私が力点を置きたいのは、今、日本の社会で、大人の世界でもかなり被害者が出ておりますが、消費者トラブルの件です。これは老人から、あの手この手で起きておりますが、消費者トラブルに対して、その解決方法とか、具体的に載っておりますので、子どもたちに考える力を、こういう場合はどうしたらいいんだろうかと、そういう考える力をつける内容になっております。社会に出ていく生徒たちにいろんなことを考える力をつける、あるいはそういう話し合いを持てる教科書が大事ではないのかなと考えておりますので、東京書籍を推薦したいと思います。

濱名委員) 技術と同じく、生活に生かしやすい教科書と思って見てまいりました。東書と教図、どちらがいいかというふうな感じで悩んでまいりましたが、曾田先生の意見もそのとおりで、私も東書を推したいと思います。

青山委員) これまでもお話にありましたように、家庭科の授業を通して、家庭とい

うものが大事なんだとか、家族ってすばらしいなど、そういうことを育んでいける教科書がいいと思います。それは、つまり生活のさまざまな部分について、どのように基礎知識を身につけさせて、それを生活の中で広げることができるか、そういうようなことについて、いろいろ見させていただきました。基本的な知識や技術の習得ということももちろん大事ですし、また、その後も生活の手引書として生徒が活用できるような教科書を選びたいと思いました。

やはり3者とも優劣がなく非常に難しい選択になるのですが、その中で家族という中に大人がいて、子どもがいてという形になると思うのですが、幼児のことについてどれぐらい触れているだろうかという部分がございます。

大磯町はたまたま中学校で幼稚園を訪問するという活動をしております。そのときに、幼児について、授業の中でさまざまな触れ合い方を学習すると思うのですが、そのことについて東京書籍はよく触れていると思いました。

また、細かい部分になりますが、実習する際に、東京書籍と教育図書出版、左ききについてよく触れているところが目につきました。これまでいろいろな検討会の話し合いの中で、左ききへの配慮というのを先生は必要としていらっしゃるんだなということ気がついた部分もございます。非常に細かい部分ですけども、そういう配慮があるのは東京書籍ではないかと思いました。

教育長) ありがとうございます。

消費者トラブルなどの現代的な課題、実生活に密着した素材、家族というものを考えさせたい子どもたちの保育実習につながるような内容、そういうものを考えると、「東京書籍株式会社」を採択したいと考えるわけですが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) それでは、大磯町教育委員会として、技術・家庭の家庭分野については、発行者「東京書籍株式会社」を採択することといたします。

次に、最後になりますが、外国語の英語について検討をお願いしたいと思います。

同じく採択検討委員会での協議、あるいは皆さんの検討を踏まえて、事務局提案といたしましては、「株式会社 三省堂」としておりますけれども、いかがでしょうか。ご意見をお聞かせください。

中野委員) 保護者からも生徒自身からも、苦手だという声を一番多く聞くのが外国語、英語です、残念ながら。それは当然といえば当然で、中学になって初めて習う教科なので、最初はみんな、誰もがつまづく教科だと思います。そういった理由から、最も多くの時間を費やし、慎重に調査いたしました。

各者とも県が定める観点及び学習指導要領が定める目標を適切に満たしてはいました。特に学習指導要領にある聞くこと、話すこと、読むこと、書くことについて、言語活動をバランスよく配置し、コミュニケーション能力の基礎を養うという観点において最もすぐれていると感じたのは光村図書です。

特に、今日重要とされる話す能力を養う点については、日常生活でどうしても必要となる状況を取り上げて、現在、英語を主言語とする国では一般的に使われている表現を的確に用いて、短く覚えやすい会話文にしていました。

したがって、英語を初めて学ぶ生徒にとってもなじみやすいものとなって

いたと思います。しかも、会話の相手が目上であったり、何かを頼むような状況であったりした場合の配慮もありました。例文をそのまま実際の生活に活用できるようになっていたところが非常によかったと思います。

また、多くの生徒が不得意と感じる聞き取りの練習も多く、ポイントも示してありました。さらに、書くことにおいては、短文から長文に至るまでのポイント、読むことにおいては、長文読解のポイントも解説してありました。

27年度の神奈川県 of 公立中学校で使われている英語の教科用図書を調べました。公立で最も多いのが学校図書でした。ただ、横浜市では18区共通で光村図書を使っているため、その分をカウントすると、光村図書が一番多くなります。次いで多かったのは相模原の3地区を3とカウントした場合の三省堂、その次が開隆堂になっています。ただ、私立では、三省堂を使っている学校が圧倒的に多く、次いで多かったのは、公立では最も少なかった東京書籍、その次が僅差で学校図書となっていました。

私は、シラバスを全て白紙に戻し書き直すという膨大な労力が発生することになるだろうが、これまで使っていた三省堂とは違う光村図書をぜひ先生に頑張ってもらいたいと思います。ただ残念なことに、ほかの委員からも指導者の立場からの意見としても、三省堂が最も容易で親しみやすく、導入に適しているという意見があったことも事実です。

濱名委員) 検討委員会に出てきた意見ですけれども、小学校での活動に配慮があり、教科書の中で書く練習ができたり、そういう諸々の視野を含めて三省堂「NEW CROWN」の意見が非常に多かったように見受けられます。ですが、私も海外で生活したことがあります。海外の言葉も使ったときに、身近な人間と会話をするのは単語を並べて話せばそれで成立はするんですけれども、しっかりした会話を成立させようとしたら、やはり文法が必要になってまいります。「COLUMBUS」、光村になりますけれども、文脈を大切に自然な英語学習をすることができる。内容的に見てまいりまして、私も「COLUMBUS」がいいかと思われました。

現場の意見を尊重したいという気持ちがあるんですけども、私の狭い小さな経験の中から意見を申し上げるとしたら、「COLUMBUS」がいいのではないかというのが私の意見です。

青山委員) 英語の教科書については、得意になる子、なれない子が出てくる科目だと思います。その中で、中学校1年生で英語という教科に初めて入っていくときに、いかにして英語の中の「中1ギャップ」を起こさせないかということが非常に大事だと思います。小学校のときの外国語活動からのつながりという部分で教科書を見させていただきますと、1年生の教科書のイラストとか絵とか、さまざまな配置の仕方について、小学校と非常に似させて違和感なく導入している、そして、ステップの幅を低くして設定されているのは三省堂ではないかと思いました。内容とか紙面の構成についても、学ぶことがしっかり明示されていて、生徒も学習内容が非常にイメージしやすい工夫がされていると思います。

また、言語活動のバランスについてですが、これも各者ともにそれぞれ工夫されているんですけども、三省堂は各レッスンごとにドリルですとかプラクティスということで、聞くと話すと書く内容をうまく配置していて、言

語活動が偏りのないように意識しているという点が非常によいと思いました。

こういう配置の仕方が基礎学力の定着につながっていくと思います。大磯の子どもたちは英語が苦手なんだという話がありましたけれども、その根拠がよくわからないのです。何か調査がきつとあっておっしゃっているんだろうと想像するのですけれども、苦手かどうかというのはちょっと疑問です。

あと、大磯町に限らず、今、A E Tを入れて会話あるいはネイティブな英語に触れるという活動がありますけれども、その活動についても、じゃあ、どの教科書を関連づけて授業をするのがいいだろうかというところ、三省堂は見開き1ページの中に話す内容も必ずうまく取り入れてあるということで、選択肢がより多く配置されていると思います。そういう意味でも、大磯の英語学習に一番向いているのは三省堂だと思います。

曾田委員) 私はそんなに英語の教科書を十分に見る力はありませんが、また、生徒の声を一つ一つ聞いたわけではありません。しかし、現場の先生の声を聞いた限りでは三省堂でいいということですので、そうすると、初めて習う子どもたちが、教えられる側として、先生が十分な意思を伝えることができる教科書でやるのがいいのかなと思いますと、生徒たちにどれがいいとか、これがいいというのはよくわからないと思います。よほど海外にいてわかる海外子女の子どもは別として、そんなにわからないだろう。そういう意味では、自信を持って教えることができるという先生の立場になると、三省堂ということで推薦をしたいと思います。

教育長) 今、青山委員から、大磯は英語が苦手な子が多い、少ないというようなことですが。

中野委員) 生徒や保護者から実際によく聞かれる意見ということであって、何か根拠があって、データがあってというわけではないです。

教育長) それでは、今、大きく、生活に生かす、聞くことと、書くことのバランスから、また文法的なことから光村というご意見。それと、小学校の英語活動とのつながり、あるいは週4時間の指導のうち、1時間はA E Tの指導で、聞くことから入って、読む、話す、書くと展開する形が現場の声にはマッチしているだろうということで、三省堂というものが出ておりますが、ほかにありますでしょうか。

中野委員) 大磯町では、とりあえず小学校から英語を部分的に取り入れていますし、私は授業参観などで先生方の授業の様子を見させていただいている限り、先生方はとても発音もお上手ですし、指導の仕方もみんなの関心を引くような、うまい指導法をされていると思います。にもかかわらず、英語の成績がという声を聞くのはなぜだろうという疑問をいつも抱いております。

教育長) ご指摘のところは英語教育の課題として、我々が今後授業改善を図っていく課題として受けとめたいと思います。

それでは、繰り返しになりますけれども、小学校の英語活動とのつながり、あるいはA E Tを導入した形での指導形態というようなことから、事務局としては「株式会社 三省堂」を採択したいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

青山委員) 異議なし。

曾田委員) 異議なし。

教育長) それでは、私を含めまして、3人が三省堂、2名の方が光村ということで、大磯町教育委員会としては、外国語の英語につきましては、発行者「株式会社 三省堂」を採択することといたします。

以上で、種目ごとの検討は全て終了いたしました。それでは、もう一度、教科・種目ごとに読み上げますので、ご確認をいただきたいと思います。

国語の国語は、「光村図書出版株式会社」、国語の書写は、「光村図書出版株式会社」、社会の地理的分野は、「株式会社帝国書院」、社会の歴史的分野は、「教育出版株式会社」、社会の公民的分野は、「教育出版株式会社」、社会の地図は、「株式会社帝国書院」、数学の数学は、「株式会社新興出版社啓林館」、理科の理科は、「株式会社新興出版社啓林館」、音楽の一般は、「株式会社教育芸術社」、音楽の器楽合奏は、「株式会社教育芸術社」、美術の美術は、「光村図書出版株式会社」、保健体育の保健体育は、「株式会社学研教育みらい」、技術・家庭の技術分野は、「東京書籍株式会社」、技術・家庭の家庭分野は、「東京書籍株式会社」、外国語の英語は、「株式会社三省堂」、以上を平成28年度大磯町立中学校で使用する教科用図書として採択いたします。

その他

教育部長) 次回の定例会は8月20日木曜日午前9時から本庁舎4階第1会議室にて行います。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成27年度大磯町教育委員会第1回臨時会を閉会いたします。お忙しい中、長時間に渡りご審議いただきまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成27年 9 月24日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____